

# 清友

No. 75

2015年11月



小石川後楽園のイロハモミジ

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

## 学習交流会案内

- 日時 **12月7日(月)**  
午後1時30分開会
- 会場 清掃会館地下ホール
- テーマ 認知症と  
どう向き合うか
- 講師 小松友恵さん  
(国分寺診療所在宅療養支援部長)
- 懇親会 午後3時から  
(学習会終了後)
- 参加連絡 11月21日 期限

## 新春の主な行事

### ●新春の集い

- <日時> **1月30日(土)**  
12時30分開場
- <場所> 小石川後楽園涵徳亭
- <会費> 3,500円
- <申込み> 12月の定例連絡にて  
案内します。

### ●演芸鑑賞会 (企画中)

- <日時> **3月17日(木)** 予定
- <公演> 国立演芸場3月中席
- <会費> 弁当付2,000円の予定
- <申込み> 2月の定例連絡にて  
案内の予定。

9月現在の高齢者(65歳以上)数は約3190万人です。そのうち、認知症の方は軽度認知障害を含めると約860万人と推定されています。高齢者の4人に1人に認知障害があるということになります。実際にはもっと多いのかもしれない。

認知症は誰にでも起こりうる病気です。認知症のことで

悩んでいる方、不安に思っている方もいると思います。そこで、認知症の定義や仕組みなど基礎的なことを知り、認知性になるとどういう状況になるか、もしも自分や家族が認知症になった場合の向き合い方、認知症にならないようにするための留意点等を実践的に学ぶため、この冬の学習交流会は、認知症をテーマに

「新春の集い」、3月17日に「演芸鑑賞会」を行います。こちらにも参加ください。

また、1月30日に「新春の集い」、3月17日に「演芸鑑賞会」を行います。こちらにも参加ください。



## 12月7日に実践的学習会

# 認知症とどう向き合うか

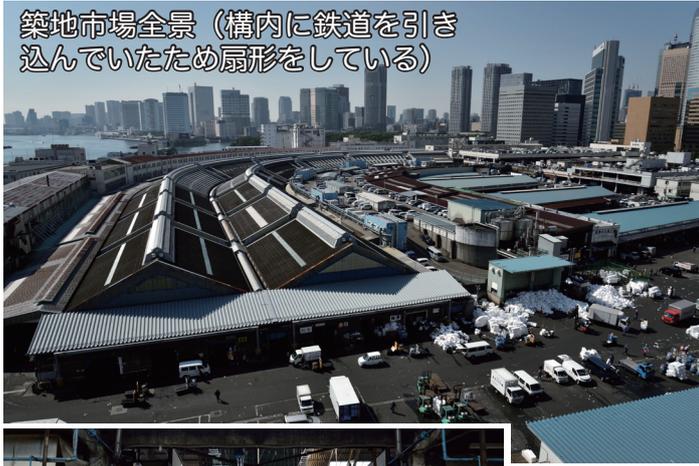
実際に認知症患者と向き合っている専門家です。貴重なお話を聞けると思いますので、是非参加ください。学習会終了後は懇親会をもちます。

講師は医療の現場です。貴重なお話を聞けると思いますので、是非参加ください。学習会終了後は懇親会をもちます。

# 築地市場探検

## 実際に見て強まった 築地市場移転への疑問

バッテリー駆動のターレット式構内運搬車が音もなく走り回り、商品を詰めた発泡スチロールや段ボール箱でごちゃごちゃした迷路のような狭い通路、プロの買い付けが済んだ時間帯なのに、喧噪とした市場の活況ぶりを十分想像できませんでした。10月19日の築



「新市場は一般客の立ち入りが規制された大手流通資本向け『物流倉庫』に過ぎない」と指摘し、多くの市場関係者が反対しています。移転は誰のためのものか疑問だらけです。

活魚のいけす、魚がし横丁を見学。昼食は「すし鮮」で旨い寿司を味わいました。今回の見学を通じて、築地市場の豊洲移転（16年11月開場の計画）に対する疑問が強まりました。東京ガスの都市ガス製造過程で生成された有害物質で高濃度に汚染され、「日本最大級の汚染地帯」といわれた豊洲の土壌汚染対策工事は「多数の区域で工事未実施」等の疑惑が指摘され、食品流通の専門家は

地市場見学に21名参加。中央市場退職者会の仲間以案内していただき、青果物と水産物の仲卸業者売り場や、競りの場所、

## 今年の旅行会は 残念ながら中止

11月15日から一泊で計画していた旅行会は、参加申込者が予定数を大きく下回ったため、中止にしました。旧退職者会時代より30年に及ぶ歴史を刻んできた行事だけに残念です。今後の取組みについては、参加希望が少なかつた原因を分析した上で検討したいと考えています。



北鎌倉駅集合、建長寺境内を抜けて登山道に入り、富士山や湘南の海の展望を楽しみました。参加者の体調を考慮して中断し下山しましたが、色づき始めた木々に秋を感じま



鎌倉アルプスよりの鎌倉中心部と湘南の海眺望

## 気持ちよく晴れた鎌倉に 秋を感じたミニ旅でした

「いざ、カマクラ」集いし四天王、なんちゃって。10月28日の「歩こう会・鎌倉アルプスハイキング」参加者は4人。ちよっとさびしい人数でしたが、天気には恵まれ、暑いくらいの晴天でした。



加できます。次の企画はあなたの「〇〇へ行きたい」のひと言で決まるかもしれません。した。「歩こう会」の行事は誰でも参

# 自然にやさしく人にやさしく 区民と清掃労働者をつなぐ対話集会

清掃事業の区移管から16年目。偽装請負の疑いがある車付雇上が横行し、半数近い区で新規採用が10年もの間行われていません。特別区が清掃事業をないがしろにしているといわざるを得ない現状打破のため、東京清掃は清掃事業の公共性復権を目指して、区民と直接つながる取組みを始

めました。6月の自治研集会で推薦区議と協働の取組みを行い、その発展形として10月8日、文京シビックセンターで「区民と清掃労働者をつなぐ対話集会」が開かれました。集会は、訪問収集や環境学習など区民にふれあう業務を紹介するDVDを上映、林家ライス・カレー子の環境漫才で環境にやさしい生活について理解を深め、東京清掃の取組み姿勢を紹介した後、区民や区議から質問や意見を出してもらった形で進められました。廃棄物の収集・処理以外の業務内容を知ってもらうことや、東京清掃の目指す方向を市民に直接訴える機会を設定できたことに大きな意義がありました。次は、



環境漫才を演じる林家ライス・カレー子

地域ごとにもっと突っ込んだ議論をするきめ細かな取組みが必要ではないかと思えます。

## 東京清掃の賃金確定闘争を応援



庄司事務局長

10月13日、特別区人事委員会は、①月例給1413円(0.35%)・うち子の扶養手当500円引上げ、②一時金0.1月引上げ(4.30月)を勧告しました。月例給・特別給ともに2年連続の引上げですが、管理職層に手厚く配分し、一般職員の給料表改善はゼロに近いという差別的構造です。また、勤勉手当の一律抛出適用範囲の全職員への拡大と抛出割合の引上げに言及するなど、国の姿勢に追随する反動的な内容になっています。今年もまた、賃金合理化が仕掛けられました。退職者会は各決起集会を激励し、東京清掃の闘いを応援します。

## 退職者会活動日誌

＊9月7日の第2回幹事会から10月27日の第5回三役会までの9月7日に学習交流会。内容は本紙前号で報告。▼9月14日、日本教育会館で地公三単産・地公退高齢者集会。柳副会長、庄司事務局長、戸枝會計、渡辺幹事が参加。▼9月15日、日比谷公会堂で全国高齢者集会。庄司事務局長、戸枝會計、古口幹事が参加。▼9月27日、連合会館で東京清掃第85回定期大会。庄司事務局長と戸枝會計が参加。▼10月8日、文京シビックセンターで東京

清掃主催「区民と清掃労働者をつなぐ対話集会」。5名参加。▼10月15日、自治労働本部で自治退都本部幹事会。柳副会長と庄司事務局長が参加。総会議案等検討。▼10月19日、築地市場見学会。内容は別記。▼10月20日、連合会館で東京清掃15賃金確定第一波総決起集会。庄司事務局長と戸枝會計が参加。▼10月27日に第5回三役会。下半期活動計画等検討。▼戦争法案反対等の集会・行動に延べ17件・118名参加。▼事務局長会議・事務業務は10回。東京清掃の引越対策等実施。



# 高裁は再審を開始しろ！ 狭山事件の再審を求める市民集会

石川一雄さんの有罪が確定した寺尾差別判決から41年。10月30日、日比谷で狭山集會が開かれました。

弁護団等から、「検察が渋々開示した証拠だけでも石川さんの無実が明白だが、さらに検察が隠し持つ証拠を開示させて、高裁の再審開始決定をかちとり、来年には解決した

い」との報告があり、冤罪に苦しんだ足利事件の菅谷さん、布川事件の桜井さん、再審は開始されたものの未だ無罪になっていない袴田事件袴田さんのお姉さんが応援にかけつけ、「石川さんは無実だ。」と訴えました。特に足利事件の菅谷さんが「裁判所は間違いを正さない。なぜ私が犯人とされたのか未だに解らない。謝るまで絶対に許さない。謝っても許さない。」と訴えたことが印象的でした。

また、会員の郡司さんなど、石川さんが定期的に行っている高裁前アピール行動を応援している市民が揃いのハッピー姿で登壇し歌を披露、支援の輪の拡大をアピールしました。

退職者会は集會に5名参加、石川さんの無罪をかちとるまで支援し続けたいと思います。



壇上でハッピーの揃いの郡司さん



**「オスプレイNO」横田基地でアピール**

国民の圧倒的反対の声を無視して「戦争をする国」に向けて暴走する安倍政権は、オール沖縄の反対を圧殺して辺野古新基地建設を強引に推し進め、さらに、周辺自治体や市民の声に耳を貸さず、危険満載機オスプレイの横田基地配備を決定しました。

10月25日、2千人を超える市民・労働者の結集で、「オスプレイNO」「横田基地はいらない」と、横田基地へ向けたアピール行動を行いました。この行動に、東京清掃は1割行動で対応し、中心的役割を果たしました。



「あれは採決ではない。」「インチキで行われた戦争法は無効だ。」戦争法が国会通過した9月19日を決して忘れず、「戦争反対!」の声を内外にアピールするため、毎月19日に定例行動が組まれることになって1回目の10月19日、国会前に1万人に近い市民・労働者が集まりました。

主催者・政党代表・各界有志の発言はみな「怒っているぞ!」をそれぞれの言葉で表現するものでした。

安倍政権は「国民はモチを食えば忘れる」と高をくくっています。とんでもない。毎月19日の行動や、沖縄・原発・TPP・労働法制などの闘いを結合し、安倍退陣へ向けた大きなうねりをつくり出しましょう。